

福岡空港の総合的な調査に係る
P I活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査 P I 有識者委員会委員 杉尾 政博
日時・場所	日時：平成17年8月18日 19時～ 21時 場所：あいれふ10階会議室
P I 活動の種類	説明会（福岡市内）
訪問時の状況	市民等参加者61名 事務局従事者10名程度
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none">・ 全体的な印象として、より幅広く市民を集める努力が必要である。・ 会場の設営については、会場となるビル1階に案内板などの誘導があった方がわかりやすい。・ 説明者は、中央で立って説明をした方が大型スクリーンの映像を生かすことができる。・ 質疑の進め方について、できるだけ多くの市民が発言できるよう、一人あたりの発言時間を絞るなどの工夫が必要。 また、発言の内容が幅広くなりすぎないように、「」についての意見はありませんか」など、テーマごとに論点を整理するなどの工夫が必要。・ 質疑の内容について、論議がステップ1のテーマにそったものになるよう、ステップ2以降の内容にかかるものについては、ステップ2以降のP Iで取り扱うことを明確に説明する必要がある。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	日時：平成17年 8 月 19 日 13時～13時10分 場所：天神地下街
PI活動の種類	オープンハウス(福岡市内)
訪問時の状況	市民等参加者 1名程度 事務局従事者 4名程度 まずまず人通りがある場所であるが、あまり目立たず、「空港」という文字に特に興味を持たない人には何を展示しているか分かりにくい。
所見 (アドバイス等)	「福岡空港」にあまり関心がない一般の人からも意見を聴取するのであれば、幟を立てるか、通行者にアンケートを配る等をして、積極的に引き込むような工夫が必要と思われる。 多少は「福岡空港」に興味がある人を対象とするにしても、もう少し何を行っているかが分かるようにすべきである。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	<p>日時：平成17年 8 月 22 日 19時～20時30分</p> <p>場所：イイツカコミュニティセンター</p>
PI活動の種類	説明会（筑豊地区）
訪問時の状況	<p>市民等参加者 20名 事務局従事者 15名程度（事務局代表説明者5名、司会者1名を含む）</p> <p>・100名程度収容できる会場であったので、やや閑散とした感じ。</p>
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場の設営については、福岡市での説明会の反省もあって、会場への案内板の設置、係りの誘導等、適切に行われていた。 ・ 当日、事前に商店街等で説明会実施の案内とパンフレットの配布を行った割には参加者が少なく、しかも参加者は40歳代から50歳代の男性ばかりであった。福岡空港に対する地域住民の関心度にもよると思われるが、曜日、時間等については再考の余地がありそうである。 ・ 質問等を聞いていると、参加者のPIのステップの理解が必ずしも十分ではないように思われた。もう少しステップ1の説明会であることを強調した方がよいと思われる。 ・ 質問や意見がそれほど多くないところでは、差し支えない範囲で他の会場での質問や予想される質問を紹介して、論点を明らかにする工夫があってもよいと思われる。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
日時・場所	日時：平成17年8月26日 13時 ~ 14時 場所：西鉄久留米駅 2階コンコース イベントスペース
PI活動の種類	オープンハウス(筑後地区)
訪問時の状況	市民等参加者 数名程度 事務局従事者 5名程度
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none">・ 総論として、オープンハウスの実施においては、場所の選定、展示物など、どうすれば多くの人が集まり、所期の目的を達成できるか十分検討する必要がある。・ 場所の選定については、事前に人の流れをチェックし、人の集まりやすい場所を選ぶ必要がある。・ 集客については、オープンハウス内において市民の関心を呼ぶようなイベントを開催するなどの工夫が必要である。・ 展示内容については、パネルのデザイン、パネル以外の展示物など集客を考えた工夫が必要である。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄
日時・場所	日時：平成17年 8月 29日 19時～20時45分
	場所：北九州国際会議場
PI活動の種類	説明会（北九州地区）
訪問時の状況	<p>市民等参加者 45名 事務局従事者 10～15名(事務局代表説明者4名、司会者1名を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初はあまり多くなかった(30名程度)が、開始後30分程度の間にとっと増えた。 ・ 場所が駅から遠かった。地元民以外にはわかりにくい場所だった。 ・ 女性が5名程度参加されていた。20代と思われる若い人も3～5名ほど参加されていたし、聴衆の比較的年代層は広いのではと思われた。
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャパシティー一杯であった。少々手狭。逆に想像以上に(?)多くの方が参加されたのは成功といえる。 ・ 会場の案内はもう少しわかりやすくした方がよい。受付前の説明パネルも「ただ掲示されている」観が強く、積極的に見るには辛い。 ・ 質問が8つほど出たが、説明によって「福岡空港の問題」がどのような認識をされるのか、がよくわかったのではないかと少なくとも地域によって相当認識パターンに差があることは理解できたと思う(事務局にとっても、参加者にとっても)。 ・ 「何が問題なのか」を皆で考えるのがPIのステップ1なので、「現状で問題ないのでは？」と素直に意見される人の認識はかなり参考になると思われる。「現在」と「将来」とに問題を整理することも一案。 ・ 質問に対する回答が回りくどい印象を受けた。技術的な質問でなくても簡潔に受け答えされるよう工夫されることを望む。説明の際には難しい・一般的ではない術語(特に外来語の類)は避けた方がよいと思う。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員長 石田 東生
日時・場所	日時：平成17年 8 月 30 日 19時～21時15分 場所：コミセンわじろ5階
PI活動の種類	説明会（福岡地区）
訪問時の状況	市民等参加者 67名 事務局従事者 15名程度
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人（全部で延べ12名）が、多様な意見を発言できたことは良かった。司会の努力もあろうが、発言者の自己規律がよく働いていて、短時間に発言する努力をしていただいているようであった。 ・ ただ、質疑応答を含めて20分近くマイクを独占されていた方もいたこと、他人の発言中に「やめろ」等のヤジが飛んだこともあったことなどを考えると、今後は、意見交換をさらに幅広くし、より多くの方が自由に発言できるような環境整備（意見交換等についての一般的原則：例えば、発言時間はできるだけ短く、他人の発言中の野次や談笑の自粛、など）についての工夫が必要かと思われる。 ・ PI資料の作成方法についても、重要かつ参考となる意見があったので、今後の参考にするべきである。 ・ 有識者委員会の中立性の確保と検証の方法についての意見があった。第1回の有識者委員会では、委員会はプライバシー保護等の明確な理由がある以外はすべて公開で実施することが中立性と第三者性を獲得する上での前提条件であること、そしてその中で委員自らが中立性と専門性をもって考え、発言し、活動することを積み重ねることが社会的に受容されるためには決定的であることを議論し、確認したが、このことの重要性を再確認することになった。今後とも心して監視・助言を続けていきたい。

- P Iはまだ始まったばかりなので、徐々に連続的に改善していくという考え方が重要である。
- 次の二つは、説明会の具体的な改良についての提案である。
 - * 会場の都合もあったのですが、説明要員が2列に並んでいたため、特に後列の方の所属が不明であった。また、所属が書いてあるだけで氏名が不明であったこと、所属も活字が小さくよく見えなかったことなどが指摘できる。顔の見えるP Iが重要なので、氏名を含めて大きく書くこと、及び、説明者紹介の折りにP P Tに所属と氏名を映写することなどを試みられるのはいかがでしょうか。
 - * P Iレポートの説明用のスクリーンによる表示のフォントが小さく、よく見えなかったことがたびたびあった。手元にレポートがあるのでそれを見てくださいということなのであるが、今後は更なる工夫が必要かもしれない。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本智子
日時・場所	日時：平成17年8月30日 19時～21時 場所：コミセンわじろ5階
PI活動の種類	説明会（福岡地区）
訪問時の状況	市民等参加者 67名 事務局従事者 15名程度 年齢の高い層が多く、女性が少なかった。 参加者と事務局とが気軽に話せる雰囲気がないようだった。
所見 (アドバイス等)	<p>(所見)</p> <p>参加者からの質問・意見はかなりパンフレットを読んでいるようであり、PIにかなりの関心はあるようだった。</p> <p>但し、ステップごとに問題を切り分けるということについては、かなり理解が困難である。</p> <p>次のステップまで踏み込んだ質問・意見が多かった。</p> <p>(助言)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 進行上、まず発言者に時間制限(5分程度)を行い、多くの参加者に発言の機会を設ける必要がある。 2. 会場での私語・発言者へのヤジ等のマナー違反は注意すべきである。 3. 有識者委員会に関する質問もあったので、HPを含め全面的に情報公開されている事実を説明して欲しい。 4. 参加者の人数・年齢層がもっと多種多様となるように公報の方法を考える必要がある。HPはほとんど閲覧されてないように感じた。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員長 石田 東生
日時・場所	日時：平成17年 8月 30日 16時頃 場所：福岡空港
PI活動の種類	インフォメーション・コーナー（福岡空港）
訪問時の状況	市民等参加者：3名程度 事務局従事者：1名
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・展示内容はよく練られていて良かったし、係員の対応も良いと思いました。 ・ただ、パネルの充実を重視したためか活字が小さく、コーナーの外からは内容が良く分からないというように思いました。関連するパネルの上部にテーマを大きなフォントで示すなどの工夫はいかがでしょうか。 ・空港ターミナル内のコーナーは立地条件がよいと思いましたが、人の動線を考えた場合に特別待合い室側の壁面が全く使用されていないのはもったいないと思いました。大きなフォントで、PIのインフォメーションコーナーであること、皆で情報共有と議論をして調査を進めていく予定であること、などを雰囲気壊さないようにデザインに配慮して、掲示した方がよいのではないのでしょうか。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本智子
日時・場所	日時：平成17年9月2日 17時～17時30分
	場所：福岡空港・第2ターミナル
PI活動の種類	インフォメーションコーナー
訪問時の状況	<p>市民等参加者 3名程度 事務局従事者 1名程度</p> <p>展示スペースが目立たない場所にあり、照明も暗かった。 利用者が通過する場所で、足をとめにくい。 スタッフは1名でしたが、説明は的確でした。</p>
所見 (アドバイス等)	<p>(所見) 場所的にハンディのある所ながら、スタッフが積極的に足を止める利用者に声をかけて説明をしていた。 「福岡空港は新空港に決まったのでは？」 「PIって何？」 「誰が実施しているのか？」等質問してみたところ適切な説明をもらえました。</p> <p>(アドバイス) ・ インフォメーションコーナーは最も継続されるPI活動であり、照明を明るくする、机や椅子を設置して資料を座って読める、等の工夫が必要。 ・ 空港や駅などは通過場所となって、利用者が足を止めにくいのではないか。 ・ 女性スタッフを配置した方が、女性や若年層が質問しやすいと思う。</p>

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
日時・場所	日時：平成17年9月9日 10時～ 12時
	場所：あいれふ 10階会議室
PI活動の種類	懇談会
訪問時の状況	市民等参加者 10名 事務局従事者 説明者6名、他に5名程度
所見 (アドバイス等)	<p>総論としては、熱心に質疑がされており、良かった。</p> <p>各論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会の冒頭に、会議(懇談会)の目的や役割をきちりと説明したほうがよい。また、その会の出席者がどのような立場で呼ばれているのか、どのような人の懇談会であるのかを説明した方がよい。 ・ 会の運営方法で、質問と感想を分けて聞いた方がよい。「...の問題について意見はありませんか」とか「...の問題についての感想はありませんか」とか具体的に聞いた方が意見が出やすいのではないか。「何かありませんか」という漠然とした訊き方では、意見の出方がバラバラになり、出席者相互の議論が深まらない。 ・ スライドの内容に、もっと動画を活用した方がよりわかりやすくなる。静止画像より動画の方が、聞く側からすると理解が深まりやすい。今回の懇談会の説明においては、8月18日の説明会の際にはなかった、空港における飛行機の走行を示す動画が加わっていたが、その部分はわかりやすくなった。 ・ 8月18日の説明会の際に指摘した、ビル1階における誘導については、今回は誘導員が配置されており改善が見られた。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生
日時・場所	日時：平成 17 年 9 月 10 日 10時～12時
	場所：福岡空港
PI活動の種類	福岡空港見学会
訪問時の状況	市民等参加者 29名 事務局従事者 10～15名
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学会は空港の現状と課題を体感し、理解していただく上で意義の大きい試みである。 ・ 参加者には、子供連れやカップルも見られ福岡空港をめぐる議論の裾野を広げる上での効果も期待できよう。 ・ 当初の3回を、希望者が多いということで5回に増加させたが、このような柔軟な対応も良かったと考える。 ・ 議論を広めるためにも、今後ともこのような機会を確保すべきだと考える。 ・ 立ち入り制限区域への立ち入りもあり、参加者の引率や、行程管理という面からは、機会や回数増加は難しい面もあると思われるが、回数増加や今後の継続的実施のための工夫が望まれる。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生
日時・場所	日時：平成 17 年 9 月 10 日 14時～16時
	場所：アクロス福岡 6階606会議室
PI活動の種類	懇談会（市民団体）
訪問時の状況	市民等参加者 10団体、21名 事務局従事者 10～15名
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な立場の方々が参加され、多様な意見やコメント、新しい視点の交換が効果的になされていた点が高く評価できる。説明会における行政側と市民側の2者対立的な構図とは異なり、市民相互を含めた多方向のコミュニケーションが成立する雰囲気を感じられた。多様なPI手法を同時並行的に実施することの重要性が再確認されたと思う。 ・ 参加者の発言時間も比較的短く、多数の方が発言できたことは良かった。司会と参加された方にそれぞれ敬意を表したい。 ・ 今後のステップにおいては懇談会参加者の輪を広げる努力が必要であろう。そのためにも、懇談会における議論、雰囲気、参加者の広がり、いただいた意見の総合的調査への反映結果等についての、積極的な広報が重要であろう。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成17年 9 月 12 日 14時00分～16時00分
	場所：天神ビル
PI活動の種類	懇談会（利用企業等）
訪問時の状況	<p>市民等参加者 20名程度 事務局従事者 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡の地元経済界の方々の参加であり、かなり実務的な色彩が強かった。 ・ 女性の参加はなく、比較的年配の方々に構成されていた。
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問が10以上出た。「現空港の機能向上」「周辺サービスの向上」についての質問が多かったため、もう少し現状の問題点を空港だけに限らず、周辺サービスがどのように変化しているのか、今後どのようなようになるのかなど、空港整備の付加的な要素についてもさらに説明することが望まれる。 ・ 今回は説明を聞かれる方々が経済界ということもあり、要点を絞って説明・質問に対する回答も比較的簡潔という印象であった。 ・ やはり「現空港での問題」(現状維持を行うと出てくる問題)の認識が調査側の認識とかなりずれている。この「現状維持を行うと出てくる問題」についてさらに詳しく説明する必要がある。 ・ 「空港が混んでいる」点をビデオを使って説明しているが、前回も少し感じたが、どうも今ひとつ実感がわからない。おそらくアングルの問題であろうが、「混んでいると不便である」ことを伝えるのであれば、もう少し工夫した方がよい。特に実業の方々からすると混んでいることによる不利益は相当大きいはずであり、そのあたりを理解していただくことは重要である。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本智子
日時・場所	日時：平成17年9月16日 19時30分～21時30分
	場所：地域集会所
PI活動の種類	懇談会（空港周辺住民等）
訪問時の状況	市民等参加者28名 事務局従事者17名程度 地域住民の懇談会であり、会場は遅刻者もなく資料の配付等もスムーズで、定刻開始で行われた。
所見 (アドバイス等)	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民という利害関係者の立場から、簡易パンフレットに記載された環境対策費の公開に対し、表現が誤解を招くという趣旨の意見が出ていた。詳細資料との対比の説明が事務局からあったが、その場での説明では理解しにくいと思う。 ・ アンケートやこの懇談会の参加者の意見が、どのように反映されるのか、形式的にこのような会合が設定されているだけでないか等の意見がかなりあり、各ステップでのPI活動で得られた意見に対する対応は具体的に行う必要性を強く感じた。 ・ 参加者が具体的な利害関係者であることから、意見と質問が混在しがちであり、司会者が各質問毎に発言のポイントを整理してから回答することが必要である。 <p>アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者概要があらかじめ予測される懇談会では、事前に資料を配付しておく配慮がスムーズな進行のためにも良いと考える。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	日時：平成17年 9 月 17 日 10時～12時40分 場所：地域集会所
PI活動の種類	懇談会（空港周辺住民等）
訪問時の状況	参加者 25名 事務局従事者 説明者5名、その他10名強 参加者とは事前に連絡が取られていたこともあり、予定時間までに遅れるとの連絡があった1名を除きすべて席に着き、定刻2分前に懇談会が開始された。 利害関係者との懇談会であり、PIレポートについては要点の説明に止め、主に質疑と参加者側の意見、主張に多くの時間が割かれた。
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ PI及びPIの各ステップの説明は適切に行われた。 ・ 参加者側より、PIの実施に関して出された以下のような意見については、今後考慮すべきと思われる。 雁ノ巣云々という市長の一連の発言は、PIの実施において誤解を与える可能性がある。 今回のPIレポートは福岡空港のよい面よりも問題となる面を強調するなど、レポート自体が偏っている印象を与える。 環境対策費、用地賃借料の費用側だけが記載されているが、収支で説明すべき。 ・ PIレポート記載事項に関する質問については、的確に答えることが必要である。答えられない点については、その後の対応を明確に伝える。 ・ 懇談会であるのに交渉の場に近い意見が出されていたが、懇談会の趣旨を明確にし、PIとして意義ある意見は取りまとめて公表することを明確に伝えて、進行を図るようにする。 ・ PIの趣旨にそぐわないような意見、主張は制止することも必要である。